



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2012～2013 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「質素な運営 豊かな奉仕」

◆会長 足立 常孝 ◆幹事 田中 雅昭 ◆会報委員長 坂家 賢司 ◆会報担当 三枝 祥一

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

## <出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 935 回	51 名	51 名	48 名	—	94.12%
前々回 933 回	51 名	51 名	45 名	1 名	90.20%

<点 鐘>  
<ロータリーソング>

会長 足立 常孝  
我等の生業

<本日のゲスト>

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 上野田 隆平 様

<会長の時間>

会長 足立 常孝

こんにちは。本日は、上野田ガバナー補佐の第 2 回目のクラブ訪問例会です。例会終了後クラブ協議会が開催されます。上野田様には、御指導の程、宜しくお願い致します。本日の会長の時間は、先日閉幕したオリンピックのお話をさせていただきます。今回の開催国はロンドンでした。ロンドンでは、3 回目、近代では最多開催地だそうです。



開催地に計り知れない資金が集まるのですから、石原都知事が、東京で 2 回目の開催を画策されても当然かもしれません。

今回のロンドンオリンピックで、初めて行われた事が沢山あります。私が驚いたのは、女子選手にまつわる事・醸成の勢いを感じました。

参加したすべての国々で、男女の選手が参加したのは、今回が初めてで、前回のアテネでは、男子だけの参加国が 5 カ国あった。

日本は、過去 2 番目の最多選手を送り込んで、女子選手の数が男子選手を上回っていた事、金メダル 7 個のうち、男子が 3 個・女子が 4 個とった事は、参加選手の比率に比例しているのでは？

全種目に、女子部門もできた事。ボクシングも今回から種目に加わった事など、全世界で女性がたくましくなった。オリンピックでも、ロータリーでも、女性の台頭は、世界的な今世紀の流であると思います。

どうか前越さん、新しい女性会員を御紹介して下さい。又、皆様に新入会員予定情報を頂きます様、お願い致します。会長の時間を終わります。

<幹事報告>

幹事 田中 雅昭

◎国際ロータリー第 2630 地区直前ガバナー事務所より  
・2012～2012 年度ガバナー事務所閉鎖のお知らせ

<会員増強表彰>

受賞者：清水 幸平 会員

今年度は、新会員が入会された時、筆頭推薦者に村橋ガバナーから会員増強表彰状と会員増強ピンバッジが送られます。



<本日のプログラム>

ガバナー補佐卓話

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 上野田 隆平 様

第 1 回目の AG 訪問をさせていただき、各クラブの活動予定、運営についての状況などお聞きいたしました。各クラブにおかれましては、それぞれのカラー（考え、志向、雰囲気など）に特色があり、同じロータリアンとしてとても興味深く、また感心したり、驚いたり致しました。



各クラブ共通の課題は、会員減少といえるのですが、なかには多くの新入会員を獲得されたクラブもあります。会員増強をされているクラブは、やはり増強するための努力のベクトルが強く、方向性が明確であるように感じました。担当される会員だけでなく、クラブを上げて増強にまさに邁進されている印象を受けました。

会員増強の成果とクラブの財政(クラブの経済状態)はまさに比例しています。一定以上の成果を超えると加速度的に財務体質がよくなっています。そのようなクラブはまさに「地域社会の改善」に取り組む力を持っていると思います。

対極にあるとっては申し訳ありませんが、会員が減少し、財政が逼迫している場合は、会員の増強が喫緊の課題であり、ロータリー活動は「ネットワークづくり」に重きを置いたことになるのでしょうか。

多くのクラブが、あるいは多くの会員が「スキルを生かしたボランティア活動」に取り組んでいます。職業を通じた奉仕活動とともに、より一層、会員各自のスキル(教養や訓練を通じて獲得した能力)をクラブの運営、活動に生かしていくことが必要だと感じました。

ロータリーの標語「超私の奉仕」実践の指針は、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」の5つの部門です。5つがバランスよく機能していれば良いのですが、現実はそうではありません。

お叱りと不勉強を省みず、クラブの財政と5つの奉仕部門をチャートにしてみると次のような関係になります。

クラブのタイプはだまかに4タイプに分かれています。

**運営の安定度:**「クラブ奉仕」「職業奉仕」(会員数の増減、財務内容、組織など)

**発信力:**「社会奉仕」「国際奉仕」「新世代奉仕」(地域での奉仕活動、交換学生、など)

- A: 模範的?
- B: 伝統的?
- C: 自己満足的?
- D: 自信喪失的?

		運営の安定度 高い		
発信力	高い	B	A	高い
	低い	D	C	
		運営の安定度 低い		

- A タイプのクラブはまさに模範的なクラブで、潤沢な予算を交換学生など活動のための原資にしている。
- B タイプでも比較的Aタイプに近いクラブから、安定度が高いにもかかわらず情報発信するような事業が少ないクラブもある。
- C タイプのクラブは、活動を特化して集中的に予算を使っているが、活動の規模に比べ体質が脆弱。
- D タイプのクラブは、会員の自信を取り戻すためにもロータリーの基本に戻る事が必要。

**「CLP」の導入**

- Aタイプは活動のツールとして導入が早い。
- Bタイプは導入におおよそ慎重。導入に熱心な会員がいると導入自体が目的となっている。

C会員増強が主な関心事。会員相互の信頼は厚いが、自己満足的活動が会員増強の障害かも・・・

D 先ずは、「ロータリー活動に参加している」と実感できるような活動を行なう。

以上のような各クラブの実情により、CLPの導入に温度差があると思われる。

したがって、AタイプとDタイプは「効果認識」でCLP導入によって活発化を促す。但しDタイプは、地区、スポンサークラブの手厚い指導が不可欠と思われる。

BタイプとCタイプは「手続き優先」でまずは導入することから始めることが良いように思われる。

**ロータリー財団セミナーの報告 永家 会員**

開催日 2012年7月7日

場 所 岐阜都ホテル

参加者 足立会長・永家副会長

背景はアンケートの結果ロータリーの知名度の低さがわかり、これを何とか打破したいもっとロータリーの知名度を上げたい。

その為にはロータリーの奉仕活動がしやすいように、補助金を多くのクラブに渡すことにより全体でロータリーの知名度を上げる。

未来の夢計画の下では、3種類の補助金が提供されます。

- ・新地区補助金
- ・クラブと地区が地元や海外の切迫したニーズに取り組むプロジェクトを実施するための補助金です。
- ・グローバル補助金

6つの重点目標である(・平和と紛争予防/解決・疾病予防と解決・水と衛生設備・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展)のいずれかに沿って戦略的優先分野に的を絞ることによって大きな成果をもたらす事を目指すプロジェクトの為に補助金です。グローバル補助金の範囲は、3万~40万ドルとなっています。

ただしこれは2010~2012年度から開始されたパイロット地区(100クラブ)が対象です。それ以外のクラブはマッチンググランドと言って2カ国以上のロータリークラブや地区が、国際奉仕の為に集めた寄付金に一定の補充金と組み合わせ支給するものにエントリーができます。

**パッケージ・グランド**

ロータリー財団が選んだ戦略パートナー(協力組織)と連携の下に、市建築とクラブが活動にあたります。資金は全額、WF(国際財団活動資金)および協力組織から提供されます。



**戦略パートナーとは**

- \*アガ・カーン大学  
看護学を教える教員に研修を行い、医療や管理運営に関する教員のスキルアップを高めます。
- \*オイコクレジット  
農村地域や情勢の企業化に融資を行っています。

## \*マーシー・シップ

船の病院で、傷病兵に対する医療支援や平常時はアメリカの政府機関の要請に基づき災害被災者や人道支援対象者に対して医療支援を行う。

## \*ユネスコ水教育研究所

発展途上国や新興国に対して水や衛生設備に関する専門家の育成を行っています。

これらの中で当クラブが関われるのは新地区補助金です。今までより柔軟性を備え、クラブと地区は海外・地元を問わず一体となって、比較的小さな教区活動・人道的活動に使え、資金はロータリー財団から提供されますが、管理運営は地区レベルで行われます。地区は毎年、地区財団活動資金の50%までを申請することができます。

2630 地区では、新地区補助金に回せる金額は10ドルが上

限です。それを地区 80 クラブで割ると単純計算で1250ドル約10万円弱です。そして年間で一人100ドルを切るクラブは満額支給しない事もあり得るそうです。

当クラブは年次寄付目標達成率が128%の一人135.79ドルで80クラブ中6位です。

そして今までの地区補助金支給状態でも80クラブ中34クラブが支給を受けています。当クラブも2010~11年度に「特別支援学校生との社会参加推進プロジェクト」で266,000円支給されました。

濃飛グループでは8クラブ中、可児・美濃加茂・高山中央の3クラブです。今年度は上野田AGのリーダーシップの下濃飛グループの頑張りが見込まれます。

## &lt;ニコニコBOX&gt;

本日、第2回目の訪問です。宜しくお願いします。

**ガバナー補佐 上野田 隆平 様**

国際ロータリー第2630地区濃飛グループガバナー補佐上野田隆平様のご来訪を心より歓迎申し上げます。本日、卓話をよろしくお願い致します。

**理事役員一同**

前回の例会は、70%台、本日は90%台の出席を賜り非常にうれしく、上野田ガバナー補佐のご来訪共々感謝しております。

**足立 常孝**

昨日はお花をありがとうございました。内緒ですが、誕生日に花を貰ったのは初めてです。嬉しかったです。

**前越 路子**

脊椎管狭窄症の手術を受けお蔭様で9日間で退院することが出来ました。入院に際しましては、足立会長を初め多くの会員の皆様にお見舞いを頂きありがとうございました。入院中は、健康の有り難さ、女房の有り難さが身にしました。これからは、心を入れ替え真面目に生きていきたいと思ひます。

**劔田 廣喜**

劔田さんご退院おめでとうございませう。しばらくは、腰の運動はくれぐれもご注意下さい。

**久々野 国良 三枝 祥一**

毎日暑くて大変ですね。お身体に皆さん気を付けて下さい。本日早退させて頂きませう。

**西倉 良介**